

ブックトーク テーマ 「宍道湖博士になろう」

- ・対象 城北小3年生
- ・実施日 平成22年5月24日(月)3年2組・25日(火)3年2組 教室
- ・ねらい 宍道湖の自然や生き物、伝説について書かれた本を紹介することによって、宍道湖について興味をもち、調べてみたい、もっと知りたいという気持ちを育てる。
- ・流れ

紹介する本	内容・ポイント
<p>1. 宍道湖の夕日 川本貢功 写真 (日本写真出版)</p> <p>2. 島根の童話 愛蔵版県別ふるさと童話館 日本児童文学者協会 編 (リブリオ出版)</p> <p>3. 嫁が島ものがたり 秦 信夫 著 (編集会議)</p>	<p>3年生になって、松江のいろいろなところを見てまわりましたね。みなさんの住んでいる松江にはたくさんすてきなところがあります。中でも日本で7番目の大きさを誇る宍道湖は、あるものがとてもきれいなことで有名ですが、知っていますか？(子どもにたずねる)</p> <p>宍道湖の夕日はとてもすてきですね。みなさんは他に宍道湖について知っていることがありますか。今日は宍道湖について書かれた本を紹介します。</p> <p>最初に紹介する本は「宍道湖の夕日」という写真集です。写真をとったのは松江出身の川本さんです。季節ごと、時間ごとにちがう夕日の様子を美しい写真におさめています。(写真集を数ページ見せ、拡大したものを掲示する)</p> <p>みなさんはどの夕日がきれいだなと感じたのでしょうか。</p> <p>怪談話をたくさん書いた小泉八雲を知っていますか。八雲もこの松江の夕日をとても気に入っていたそうです。小泉八雲は宍道湖の夕日についてこのように言っています。(P132初め)(P133～134部分) このように、小泉八雲が松江を愛していた理由のひとつが宍道湖なのです。</p> <p>その宍道湖に浮かぶ島があるのを知っていますか。「嫁が島」といいます。この嫁が島には悲しい伝説が残されています。【松江に嫁入りした娘が嫁入り先でいじめられ、娘はつらくなってとうとう店を出て自分の家に帰ろうとします。その時に近道をしようと冬の寒さで凍った宍道湖の上をひたすら歩き自分の家を目指すのですが、急ぐあまり氷の溶けかかった上を歩いてしまいました。そのため氷が割れて、あっという間に娘は深い宍道湖の中へと吸い込まれてしまいました、この様子を宍道湖に住む神様が見ていて、娘を哀れに思い松江の町が見渡せるところに娘の亡きがらと共に一晩のうちに島を浮かび上がらせたと伝えられています。】</p> <p>この嫁が島のお話や松江で飲まれている珍しいお茶ぼてぼて茶についてや、松江大橋を造られたときに人柱となった源助さんのお話など松江に伝わる話が集められています。</p>

<p>4. 島根の自然は生きている 島根県小・中学校理科教育研究会議編</p> <p>5. 宍道湖と中海の魚たち 日本シジミ研究所 編</p> <p>しんじこ七珍 (黒田都先生作)</p> <p>6. みんなの宍道湖 自然観光ガイドブック ホシザキグリーン財団 編</p> <p>6. ミズモ ひみつの剣をとりかえせ! 廣田 衣世 作 こぐれけんじろう 絵 (毎日新聞社)</p>	<p>宍道湖の底には湖岸からこの嫁が島に渡る道がついています。腰から胸まで水に浸かりながら歩いて嫁が島に渡るイベントが夏に行われています。</p> <p>宍道湖にはまだまだたくさんのひみつがあります。そこにはたくさんの生き物が住んでいます。どのくらいの種類の魚がいますか。(P 4 5 部分を読む) どうしてこんなに多くの生き物がいるのかがこの本に書かれています。(「宍道湖と中海の魚たち」の写真も見せて紹介する)</p> <p>松江の人は宍道湖に住む魚や貝の中からとくにおいしいものとして7種類を選びました。「宍道湖七珍」と呼ばれ古くから親しまれてきたのですが、7種類の生き物がわかりますか。給食にもでるシジミ汁(拡大図掲示)もそのひとつだね。(スモウアシコシとあわせて紹介する。拡大したものを掲示する。この宍道湖七珍の唄があるので紹介します。</p> <p>宍道湖のことをもっと知りたいときにはこの本です。宍道湖の歴史や生き物のことがよくわかります。</p> <p>みなさんも宍道湖博士になれそうですか。クイズにチャレンジしてみましょう。</p> <p>〈クイズ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宍道湖にはシジミが何個ぐらいいるのでしょうか A 350億個 ・シジミには、宍道湖を守るすごいパワーがあるのですがかりますか A よごれた水をきれいにするはたらき ・シジミは宍道湖全体の水を何日できれいにするでしょう A 2.9日 <p>宍道湖にはたくさんの生き物がいましたね。もしかしたらこんな生き物もいるかもしれません。</p> <p>このお話は宍道湖が舞台です。宍道湖小学校4年生の寛平はある時不思議な生き物に出会います。(P 6～8を読む) その生き物はミズモという水神様につかえるカッパの子神様でした。ミズモは荒神谷遺跡からでた荒神剣を取り戻しに来たのでした。</p> <p>(荒神剣の秘密、荒神剣を取り戻さないとミズモは帰れないし、寛平もミズモになってしまうことなどを話す)</p> <p>ミズモと寛平は荒神剣を取り戻すことができるのでしょうか。あちこちで騒動をおこし、はらはらどきどきして最後にはじんとくるおもしろいお話です。作者の廣田さんは安来市でうまれた方です。</p> <p>みなさんももっと宍道湖のことを知って宍道湖博士になってくださいね。</p>
--	---